

【テーマ5】子どもたちの健やかな体をはぐくみます

めざす方向

- ◆PDCA サイクルに基づく学校における体育活動の活性化や、地域・家庭におけるスポーツ活動に親しむ機会の充実により、児童・生徒の運動習慣をはぐくみます。
- ◆学校における食に関する指導や学校保健活動等を充実するとともに、地域や家庭と連携して子どもの生活習慣の定着を通じた健康づくりをすすめます

運動機会の充実による体カづくり

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（R2.3月末時点）>
<p>■体カづくりに関するPDCAサイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> *小中学校が「体カづくり推進計画」(*15)を策定し、実施した取組みについて、検証・改善するなど、PDCA サイクル（※）に基づく体カづくりの取組みを推進するよう市町村を通じて支援します。 ※計画による目標設定(P)⇒学校全体での取組み(D)⇒新体カテストによる検証(C)⇒成果事例の普及(A) *新体カテスト測定支援 ・中学校の保健体育教員が校区内の小学校の児童に対して新体カテストを指導します。 	<p>◇成果指標（アウトカム） （数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> *令和元年度実施の全国体力・運動能力、運動習慣等調査（新体カテスト）において、以下の指標をめざします。 ・調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合を増やします。 （参考）平成30年度 小学校38.0% 中学校46.9% ・体カテストの5段階評価で下位ランク（D・E）の児童の割合を全国水準にします。 （参考）平成30年度 小学校5年男子 33.7%（全国28.8%） 小学校5年女子 29.0%（全国22.5%） 	<ul style="list-style-type: none"> ○体カづくりに関するPDCAサイクルの確立 ・担当指導主事会で、所管する学校において全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた取組の改善等が行われるよう依頼した（6月）。 ・大学と連携し、新体カテストの測定時に、見本指導やアドバイスをを行うことを目的に、学生（延べ69名）を15市町41校に派遣した。 ・府指導主事等が、16市村27校に赴き、教員に対し、測定方法の留意点など指導・助言を行った。 ・11月の市町村担当者会において、課題や効果のあった取組みを紹介した。加えて、各学校において新体カテストを適切に実施し、子どもの体力を正確に測定できるよう、説明会を行う等、学校への支援を依頼した。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度実施の全国体力・運動能力、運動習慣等調査（新体カテスト）結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合 令和元年度 小学校43.5% 中学校44.6% ・体カテストの5段階評価で下位ランク（D・E）の児童の割合 令和元年度 小学校5年男子35.9%（全国31.2%） 小学校5年女子28.5%（全国23.8%）

■子どもの体力向上

・実践事例集（平成29年度府作成）で紹介されている指導内容を学年に応じて活用するための手引書「体育の授業がかわる！簡単プログラム」（令和元年度府作成）を使って、小学校の体育担当者に研修を行い、授業の充実を図ります。

* 大学・スポーツ団体と連携した外部講師派遣

・市町村に対して外部講師を紹介するとともに、体育専門の大学やプロスポーツ団体等の協力を得て、体力向上のための研修や児童への直接指導を行うことで、子どもの運動に対する意欲・関心を高めます。

* 子ども元気アッププロジェクト事業 

・体力づくりに効果のある、マラソン等のスポーツ大会を開催し、府内小学校における体力づくりの取組みを支援します。また、「元気アップ新聞」を活用し、運動機会の重要性を家庭に発信します。

・オリンピック・パラリンピック種目のスポーツ教室等を実施することにより、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催機運を活用し、子どもたちのスポーツへの興味関心を高めます。また、ひとりでも多くの児童が参加できるように、市町村のスポーツイベントへオリンピック等のトップアスリートを派遣し、子どもの更なるスポーツへの興味、関心へとつなげます。

◇成果指標（アウトカム）

（数値目標）

・令和元年度実施の新体力テストにおいて、体育の授業が楽しいと感じる子どもの割合を増やします。

（参考）平成30年度

小学5年男子 「楽しい」68.8%（全国73.6%）

「やや楽しい」23.7%（全国21.0%）

小学5年女子 「楽しい」54.3%（全国59.6%）

「やや楽しい」33.1%（全国31.1%）

・実践事例集を学校・学年で活用する小学校の割合を増やします。

（参考）平成30年度 実践事例集を学校・学年で活用している割合 19.5%

○子どもの体力向上

・体力向上方策の実践モデル地区に、3市7小学校を対象校として実施した。

（岸和田市・守口市・富田林市）

・小学校教員を対象とし、「体育の授業がかわる！簡単プログラム」を使った実技研修会を実施した（府内3カ所、117名参加）。また、実技研修会において、各市町村においても伝達講習を実施するよう依頼した。

・令和元年度実施の新体力テストにおいて、体育の授業が楽しいと感じる子どもの割合

令和元年度

小学5年男子「楽しい」69.9%（全国73.8%）

「やや楽しい」23.0%（全国20.9%）

小学5年女子「楽しい」55.9%（全国60.2%）

「やや楽しい」32.8%（全国31.1%）

・実践事例集を学校・学年で活用した小学校の割合

令和元年度 17.3%

・手引書「体育の授業がかわる！簡単プログラム」を学校・学年で活用した小学校の割合

令和元年度 17.5%

○体力づくりに向けた取組みへの支援

・EKIDEN大会を開催することで学校での体力づくりの取組みを推進した。（R2年2月8日開催・府内16市町54チーム、591人参加）

（参考）平成30年度 19市町村64チーム参加

・「元気アップ新聞」を府内公・私立小学校に配付（7月・12月）。（府内小学校約1000校、児童・教職員約52万5000人）※3月配付は、コロナ感染症のため延期。

・オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室（8月7日開催）では、174名の参加児童が、体操、トランポリン、卓球、ウィルチェアーラグビー、車いすバスケットボールの5つの競技を全て体験した。



は、公私双方を対象とする取組み

◇成果指標（アウトカム）

（数値目標）

- ・体力づくりの取組みとして長距離走を実施している小学校の割合を増やします。
（参考）平成30年度 長距離走 79.4%
- ・令和元年度実施の新体カテストにおいて、運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合を増やします。
（参考）平成30年度
小学5年男子 「好き」71.0%（全国72.9%）
「やや好き」20.5%（全国20.5%）
小学5年女子 「好き」51.9%（全国51.9%）
「やや好き」31.0%（全国31.0%）

- ・オリンピックを市町村のイベント等へ派遣し、子どもたちに直接指導を行った。（大東市・箕面市・泉大津市）
- ・府内2カ所のイオンモールにおいても、オリンピックによるスポーツ教室を実施した。（堺鉄砲町：体操、りんくう泉南：卓球）

- ・体力づくりの取組みとして、持久走を実施している小学校の割合
令和元年度 持久走74.3%
- ・令和元年度新体カテストにおいて、運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合
令和元年度
小学5年男子 「好き」69.1%（全国71.2%）
「やや好き」22.8%（全国22.1%）
小学5年女子 「好き」53.5%（全国55.5%）
「やや好き」32.1%（全国32.1%）

学校・家庭・地域の連携による生活習慣の定着を通じた健康づくり

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>

■食に関する指導の充実

- ・食に関する指導の全体計画に基づいた食に関する指導が確実に実践され、成果と課題が把握できるよう、学校評価で食育を評価する学校を増やします。

<何をどのような状態にするか（目標）>

◇成果指標（アウトカム）

（数値目標）

- ・学校評価で食育を評価している小中学校の割合を増やします。
（参考）平成29年度 73.3%

<進捗状況（R2.3月末時点）>

- 食に関する指導の充実
- ・市町村教育委員会に働きかけた結果、学校評価で食育を評価している小中学校の割合
84.5%（1,216/1,439校：平成30年度）